

用語の説明

(あいうえお順)

| 用語 | 説明 |
|------------------------|---|
| オンリーワン | ただひとつの。ここだけの。 |
| リジェクト・リデュース・リユース・リサイクル | リジェクトは発生回避、リデュースは廃棄物の発生抑制、リユースは廃棄物を再使用、リサイクルは廃棄物の再資源化のことで、ごみ減量のキーワードとして環境4Rと言われている。 |
| グローバル化 | 経済活動などが国境を越え、世界的規模で垣根なく行われることをいう。 |
| コーホート要因法 | コーホートとは、同年(同期間)に出生した集団のことをいい、コーホート法とはその集団ごとの時間変化を軸に人口の変化を捉える方法。ある人口集団を年次的に追跡し、集団の軌跡の変化量と変化率を用いて将来の人口を推計していく方法。 |
| 購買力流出入率 | 実際の人口に都道府県平均の1人当たり年間小売販売額を乗じた潜在購買力に対する実際の年間小売販売額の比率。 |
| 高齢化率 | 総人口に占める65歳以上人口の割合 |
| コンベンション | 会議・集会。具体的には国際会議、見本市などをいうことが多い。 |
| 丹後学 | 独自の経済文化圏を形成していた丹後王国の歴史に学びながら、この風土に培われた地域資源を見直し、活用することによって地域力を高める地域学。 |
| 地球温暖化 | 二酸化炭素など地球の気温の上昇を招く温室効果ガスの増加に伴って起こる地球の気象や生態系の変化をいう。温室効果ガスは、産業革命による工業化が始まった19世紀頃から増加し始め、20世紀後半にいたってその増加速度が急激になった。 |
| ノーマライゼーション | 高齢者や障害者もすべて一緒に暮らす社会こそノーマル(普通)であるという福祉の考え方。 |
| パートナーシップ | 協力、提携。市民と行政、企業などの間で、風通しのよい協力関係を築くための標語などに用いられる。 |
| 光ファイバー | 光の信号を送るための透明度の高いガラス繊維。1本で多量の情報を遠方へ送ることができる。 |
| マンパワー | 専門的な人材や職員。 |
| ミュージアム | 博物館。ここではまち全体が開かれた博物館のような地域づくりをいう。 |
| ユニバーサルデザイン | あらゆる人に利用しやすいように最初から意図して、建築や機器、身の回りの生活空間などをデザインすること。 |
| リアス式海岸 | 谷で細かく刻まれた土地が、陸地の沈降により沈水してできた出入りに富んだ海岸線。 |
| ローリング方式 | ローリングは回転すること。毎年3カ年計画を見直すことをいう。 |